



2023 年 9 月 14 日

各 位

株式会社九州リースサービス
代表取締役社長 礒山 誠二

グリーンビル※1 開発ファンドへの匿名組合出資について ～既存オフィスビルの省エネ化普及促進～

株式会社九州リースサービス（代表取締役社長 礒山 誠二、以下「当社」）は、東京都内の既存オフィスビルについて、省エネ化工事を行い BELS※2☆☆☆以上の認証を取得する開発を目的とした「グリーンビル開発ファンド」（以下「本ファンド」）へ匿名組合出資を実行しましたので、お知らせいたします。

本ファンドでは、昭和リース株式会社（代表取締役社長 平野 昇一）が本ファンドの企画、ファイナンシャルアドバイスをを行い、当社のほか、東銀リース株式会社（代表取締役社長 藤末 浩昭）、株式会社滋賀銀行（取締役頭取 久保田 真也）、ちゅうぎんインパクトファンド投資事業有限責任組合（代表取締役 小橋 栄紀）、エクシオグループ株式会社（代表取締役社長 船橋 哲也）、昭和リース株式会社が、本ファンドに対して匿名組合出資を実行いたしました。

日本政府は、2050 年のカーボンニュートラル達成に向け、2021 年 10 月に地球温暖化対策計画を閣議決定し、業務部門（事務所ビル、商業施設などの建物）においては 2030 年度のエネルギー起源 CO2 排出量を 2013 年度比で 51%削減する等の目標を設定しました。本ファンドの組成は、こうした国の方針に基づき、既存建築物の現状のスペック・機能に応じて、最適な省エネ工事をアレンジしていくことで、幅広い案件をカバーし、新築以外の建築物にも環境配慮を推進することを目的としたものです。

当社グループは、2021 年 4 月より取り組む中期経営計画「共創 2024～Challenge for the Future～」において、「環境関連分野への取組強化」を重点戦略の一つとして掲げ、推進しております。今後も事業活動を通じて、脱炭素社会の実現や環境負荷低減などの社会課題解決に取り組むことで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

該当する SDGs 項目



当社グループは企業理念である「共存共栄」「地域貢献」に基づく事業活動、事業戦略を通じて貢献する SDGs 項目を整理し、重要度や貢献度に応じて取り組むゴールを定め推進してまいります。

※1 グリーンビルとは、エネルギーや水・空調設備などにより環境への負荷を削減した建築物のことであり、本ファンドにおいては BELS☆☆☆以上の認証を取得したビルを指します。

※2 BELS（ベルス）：Building-Housing Energy-efficiency Labeling System（建築物省エネルギー性能表示制度）の略称。

詳細は以下 URL をご覧ください。

参照：<https://www.ceec.jp/column/bels-method-of-calculation/#BELSランクの考え方>

<案件概要>

匿名組合出資先	合同会社グリーンビル P J 1
アセットマネージャー	サムライ・キャピタル株式会社（東京都港区、代表取締役社長 青山 健）
資金使途	既存オフィスビルの取得費用、省エネ化工事費用等
事業の意義	省エネルギーに関する事業： 既存オフィスビルの改修工事による省エネルギー性能の向上 ➤ 建築物のエネルギー消費性能の向上（BELS☆☆☆以上）。 ➤ 環境配慮型建築物の普及促進

本件に関するお問い合わせ

株式会社九州リースサービス ファイナンス営業部

TEL：092-431-2622